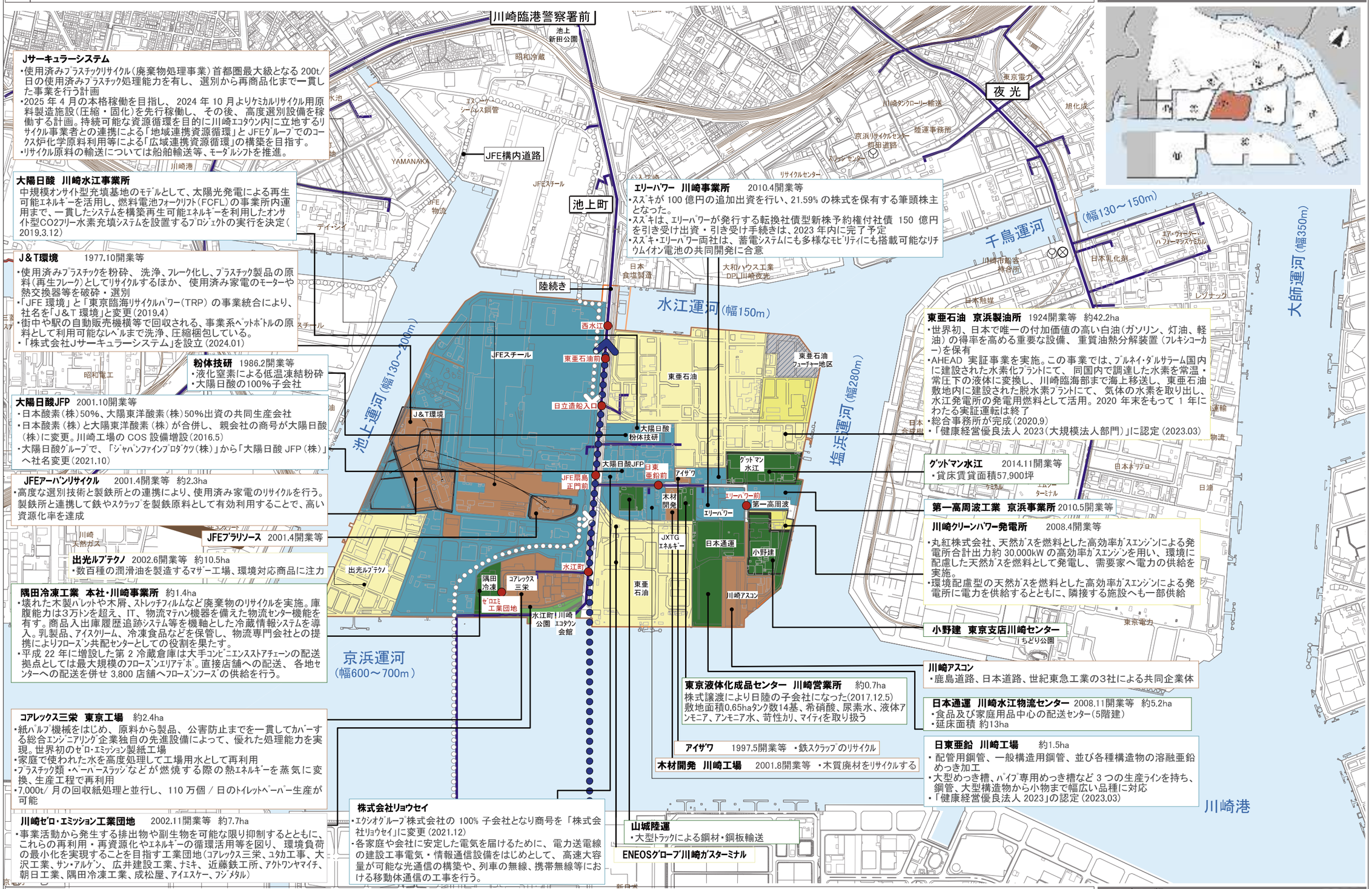
凡例

- 市域
- 対象地区範囲
- バス停
- 鉄道駅
- 工業用水道
- 警察署
- 消防署
- 製造（石油・石油化学）
- 製造（石油・石油化学以外）
- リサイクル
- 公共用地
- 物流
- エネルギー
- その他
- 公園等
- 研究開発

SCALE 1/12000

0 100 300 500m

水江町地区 7



Jサーキュラーシステム
- 使用済みﾌﾟﾗｽﾁｯｸﾘｻｲｸﾙ（廃棄物処理事業）首都圏最大級となる 200t/日の使用済みﾌﾟﾗｽﾁｯｸ処理能力を有し、選別から再商品化まで一貫した事業を行う計画
- 2025 年 4 月の本格稼働を目指し、2024 年 10 月よりｹﾐｶﾙﾘｻｲｸﾙ用原料製造施設（圧縮・固化）を先行稼働し、その後、高度選別設備を稼働する計画。持続可能な資源循環を目的に川崎ｴｺﾀｳﾝ内に立地するリサイクル事業者との連携による「地域連携資源循環」と JFEｸﾞﾙｰﾌﾟでのコークス炉化学原料利用等による「広域連携資源循環」の構築を目指す。
- リサイクル原料の輸送については船舶輸送等、ﾓｰﾀﾞﾙｼﾌﾄを推進。

大陽日酸 川崎水江事業所
中規模ｵﾝｻｲﾄ型充填基地のﾓﾃﾞﾙとして、太陽光発電による再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰを活用し、燃料電池ﾌｫｰｸﾘﾌﾄ（FCFL）の事業所内運用まで、一貫したｼｽﾃﾑを構築再生可能ｴﾈﾙｷﾞｰを利用したｵﾝｻｲﾄ型CO2ﾌﾘｰ水素充填ｼｽﾃﾑを設置するﾌﾟﾛｼﾞｪｸﾄの実行を決定（2019.3.12）

J&T環境 1977.10開業等
- 使用済みﾌﾟﾗｽﾁｯｸを粉砕、洗浄、ﾌﾚｰｸ化し、ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ製品の原料（再生ﾌﾚｰｸ）としてﾘｻｲｸﾙするほか、使用済み家電のﾓｰﾀｰや熱交換器等を破砕・選別
- 「JFE 環境」と「東京臨海ﾘｻｲｸﾙﾊﾟﾜｰ（TRP）の事業統合により、社名を「J&T 環境」と変更（2019.4）
- 街中や駅の自動販売機横等で回収される、事業系ﾍﾟｯﾄﾎﾞﾄﾙの原料として利用可能なﾚﾍﾞﾙまで洗浄、圧縮梱包している。
- 「株式会社Jサーキュラーシステム」を設立（2024.01）

粉体技研 1986.2開業等
- 液化窒素による低温凍結粉砕
- 大陽日酸の100%子会社

大陽日酸JFP 2001.10開業等
- 日本酸素（株）50%、大陽東洋酸素（株）50%出資の共同生産会社
- 日本酸素（株）と大陽東洋酸素（株）が合併し、親会社の商号が大陽日酸（株）に変更。川崎工場の COS 設備増設（2016.5）
- 大陽日酸ｸﾞﾙｰﾌﾟで、「ｼﾞｬﾊﾟﾝﾌｧｲﾝﾌﾟﾛﾀﾞｸﾂ（株）」から「大陽日酸 JFP（株）」へ社名変更（2021.10）

JFEｱｰﾊﾞﾝﾘｻｲｸﾙ 2001.4開業等 約2.3ha
- 高度な選別技術と製鉄所との連携により、使用済み家電のﾘｻｲｸﾙを行う。製鉄所と連携して鉄やｽｸﾗｯﾌﾟを製鉄原料として有効利用することで、高い資源化率を達成

JFEﾌﾞﾗﾘｿｰｽ 2001.4開業等

出光ﾙﾌﾞﾃｸﾉ 2002.6開業等 約10.5ha
- 数百種の潤滑油を製造するﾏｻﾞｰ工場、環境対応商品に注力

隅田冷凍工業 本社・川崎事業所 約1.4ha
- 壊れた木製ﾊﾟﾚｯﾄや木屑、ｽﾄﾚｯﾁﾌｨﾙﾑなど廃棄物のﾘｻｲｸﾙを実施。庫腹能力は3万ﾄﾝを超え、IT、物流ﾏﾃﾊﾝ機器を備えた物流ｾﾝﾀｰ機能を有す。商品入出庫履歴追跡ｼｽﾃﾑ等を機軸とした冷蔵情報ｼｽﾃﾑを導入。乳製品、ｱｲｽｸﾘｰﾑ、冷凍食品などを保管し、物流専門会社との提携によりﾌﾛｰｽﾞﾝ共配ｾﾝﾀｰとしての役割を果たす。
- 平成 22 年に増設した第 2 冷蔵倉庫は大手ｺﾝﾋﾞﾆｴﾝｽｽﾄｱﾁｪｰﾝの配送拠点としては最大規模のﾌﾛｰｽﾞﾝｴﾘｱﾃﾞﾎﾟ。直接店舗への配送、各地ｾﾝﾀｰへの配送を併せ 3,800 店舗へﾌﾛｰｽﾞﾝﾌｰｽﾞの供給を行う。

コアレックス三栄 東京工場 約2.4ha
- 紙ﾊﾟﾙﾌﾟ機械をはじめ、原料から製品、公害防止までを一貫してｶﾊﾞｰする総合ｴﾝｼﾞﾆｱﾘﾝｸﾞ企業独自の先進設備によって、優れた処理能力を実現。世界初のｾﾞﾛ・ｴﾐｯｼｮﾝ製紙工場
- 家庭で使われた水を高度処理して工場用水として再利用
- ﾌﾟﾗｽﾁｯｸ類・ﾍﾟｰﾊﾟｰｽﾗｯｼﾞなどが燃焼する際の熱ｴﾈﾙｷﾞｰを蒸気に変換、生産工程で再利用
- 7,000t/ 月の回収紙処理と並行し、110 万個 / 日のﾄｲﾚｯﾄﾍﾟｰﾊﾟｰ生産が可能

川崎ｾﾞﾛ・ｴﾐｯｼｮﾝ工業団地 2002.11開業等 約7.7ha
- 事業活動から発生する排出物や副生物を可能な限り抑制するとともに、これらの再利用・再資源化やｴﾈﾙｷﾞｰの循環活用等を図り、環境負荷の最小化を実現することを目指す工業団地（ｺｱﾚｯｸｽ三栄、ﾕﾀｶ工事、大沢工業、ｻﾝ・ｱﾙｹﾞﾝ、広井建設工業、ﾅﾐｷ、近藤鉄工所、ｱｸﾄﾜﾝﾔﾏｲﾁ、朝日工業、隅田冷凍工業、成松屋、ｱｲｴｽｹｰ、ﾌｼﾞﾒﾀﾙ）

株式会社ﾘｮｳｾｲ
- ｴｸｼｵｸﾞﾙｰﾌﾟ株式会社の 100% 子会社となり商号を「株式会社ﾘｮｳｾｲ」に変更（2021.12）
- 各家庭や会社に安定した電気を届けるために、電力送電線の建設工事電気・情報通信設備をはじめとして、高速大容量が可能な光通信の構築や、列車の無線、携帯無線等における移動体通信の工事を行う。

山城陸運
- 大型ﾄﾗｯｸによる鋼材・鋼板輸送

ENEOSｸﾞﾛｰﾌﾞ川崎ｶﾞｽﾀｰﾐﾅﾙ

エリーパワー 川崎事業所 2010.4開業等
- ｽｽﾞｷが 100 億円の追加出資を行い、21.59% の株式を保有する筆頭株主となった。
- ｽｽﾞｷは、ｴﾘｰﾊﾟﾜｰが発行する転換社債型新株予約権付社債 150 億円を引き受け出資・引き受け手続きは、2023 年内に完了予定
- ｽｽﾞｷ・ｴﾘｰﾊﾟﾜｰ両社は、蓄電ｼｽﾃﾑにも多様なﾓﾋﾞﾘﾃｨにも搭載可能なﾘﾁｳﾑｲｵﾝ電池の共同開発に合意

東京液体化成品センター 川崎営業所 約0.7ha
株式譲渡により日陸の子会社になった（2017.12.5）
敷地面積0.65haﾀﾝｸ数14基、希硝酸、尿素水、液体ｱﾝﾓﾆｱ、ｱﾝﾓﾆｱ水、苛性カリ、ﾏｲﾃｨを取り扱う

アイザワ 1997.5開業等 ・鉄ｽｸﾗｯﾌﾟのリサイクル

木材開発 川崎工場 2001.8開業等 ・木質廃材をリサイクルする

東亜石油 京浜製油所 1924開業等 約42.2ha
- 世界初、日本で唯一の付加価値の高い白油（ガソリン、灯油、軽油）の得率を高める重要な設備、重質油熱分解装置（フレキシコーカー）を保有
- AHEAD 実証事業を実施。この事業では、ﾌﾞﾙﾈｲ・ﾀﾞﾙｻﾗﾑ国内に建設された水素化ﾌﾟﾗﾝﾄにて、同国内で調達した水素を常温・常圧下の液体に変換し、川崎臨海部まで海上移送し、東亜石油敷地内に建設された脱水素ﾌﾟﾗﾝﾄにて、気体の水素を取り出し、水江発電所の発電用燃料として活用。2020 年末をもって 1 年にわたる実証運転は終了
- 総合事務所が完成（2020.9）
- 「健康経営優良法人 2023（大規模法人部門）」に認定（2023.03）

ｸﾞｯﾄﾞﾏﾝ水江 2014.11開業等
- 貸床賃貸面積57,900坪

第一高周波工業 京浜事業所 2010.5開業等

川崎ｸﾘｰﾝﾊﾟﾜｰ発電所 2008.4開業等
- 丸紅株式会社、天然ｶﾞｽを燃料とした高効率ｶﾞｽｴﾝｼﾞﾝによる発電所合計出力約 30,000kW の高効率ｶﾞｽｴﾝｼﾞﾝを用い、環境に配慮した天然ｶﾞｽを燃料として発電し、需要家へ電力の供給を実施。
- 環境配慮型の天然ｶﾞｽを燃料とした高効率ｶﾞｽｴﾝｼﾞﾝによる発電所に電力を供給するとともに、隣接する施設へも一部供給

小野建 東京支店川崎センター

川崎アスコン
- 鹿島道路、日本道路、世紀東急工業の3社による共同企業体

日本通運 川崎水江物流センター 2008.11開業等 約5.2ha
- 食品及び家庭用品中心の配送ｾﾝﾀｰ（5階建）
- 延床面積 約13ha

日東亜鉛 川崎工場 約1.5ha
- 配管用鋼管、一般構造用鋼管、並び各種構造物の溶融亜鉛めっき加工
- 大型めっき槽、ﾊﾟｲﾌﾟ専用めっき槽など 3 つの生産ﾗｲﾝを持ち、鋼管、大型構造物から小物まで幅広い品種に対応
- 「健康経営優良法人 2023」の認定（2023.03）